

めぐつての考察——佐々木雄介

『御堂関白記』における漢文和化について

山下昌美

日本語の尊族・卑族の

呼び方における語彙変遷

北川久美

体言止め歌について

——新古今的なものを中心に——

河原俊介

「くしない前」という表現とその周辺

葛野玲子

執筆者紹介

広田 収……………本学専任講師

明川 忠夫……………同志社香里中・高等学校教諭

柳田 洋一郎……………大阪市立第二工芸高校教諭

今井 昌子……………本学講師

谷口 広之……………本学大学院昭和五十三年度修了生

鈴木 昭一……………帝塚山短期大学教授・本学講師

岸 健治……………平安女学院中・高等学校教諭

編集後記

近代文学の分野で、鈴木昭一氏・岸健治氏の論文を掲載することができた。なかでも帝塚山短期大学の鈴木教授から賜わったことは我々の望外の喜びである。

他の諸論考は伝承理論に関するもので、「説話・伝承学会」の動向とともに、本学で本年度より特殊講義民間伝承が開講されていることに寄せられたものである。国文学研究を切り開いていく方法として民間伝承論は有効かどうか、その問題提起となれば幸いである。

(広田 収)